



祝 辞

武蔵野市長

土 屋 正 忠

桜堤コミュニティセンター創立10周年、おめでとうございます。

当センターが昭和57年3月、市内で11番目のセンターとしてオープンいたしました。

その名をあらわすがごとく、桜の木が正面玄関にセンターのシンボルツリーとしてどっしりとかまえています。

この10年間で、26万人の地域の方々がこの桜の木の下を通り、コミュニティの輪を拡げたこととなります。

振り返れば、当センター誕生のきっかけは、上水北児童遊園地にあった集会所の改築について、昭和54年9月議会に請願が出されたことでもあります。

当時は、地元出身の藤元市長さんの時代でした。

その後、市と地元住民の皆さんと協議の結果、コミュニティセンターを建設することになりました。

地域においては、当時の丸山佑一桜堤コミュニ

ティセンター建設委員長さんを先頭に、自主的に建設推進に取り組み、いつでもだれでもが楽しく利用できるコミュニティセンターづくりに努め、昭和57年3月オープンにこぎつけたのでした。開設時の役員の皆さんの喜びの顔が昨日のように思い出されます。

以来、歴代委員長、並びに運営委員の方々の積極的なご協力により、10周年を迎えることが出来た訳です。

センター行事の中でも、盆おどりや文化祭等では、児童遊園地と一体となり、地元はもとより小金井市、田無市、保谷市の住民の方々もおみえになって、他のセンターとは一味違う盛り上がりを見せると聞いております。

今後とも、武蔵野市の豊かな街づくりを進めるために地域の方々センターを地域の核として、大いにご利用いただきたいと思います。

桜堤コミュニティセンターのますますのご発展を祈念し、私のお祝いのことばといたします。